

いちごドリルプリント

- 問1 弥生時代から江戸時代までの外交上の主なできごとを整理した記録において、3世紀に邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- 先進的な仏教文化や律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家の基盤を早急に固めるため。
 - 朝鮮半島南部での鉄資源の確保を目的として、中国の王朝と軍事同盟を結び、高句麗や百済に対抗するため。
 - 中国の強力な王朝との外交関係を築き、その権威を背景に国内の統治を安定させ、周辺諸国との関係を有利に進めるため。
 - 「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かることで、北九州の奴国を中心とした小国の連合体を統一し、女王の地位を証明するため。
- 問2 福岡県などで出土した、表面が滑らかで機能的な形をした壺型の土器について、その形状や性質が変化した背景として最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵や煮炊きといった生活道具としての使いやすさが重視されるようになったから。
 - 青銅器や鉄器が普及したことで土器が使われなくなり、儀式用の飾りとしてのみ作られるようになったから。
 - 大陸から伝わった仏教の影響により、華美な装飾を避けて質素な道具を作ることが社会の決まりとなったから。
 - 狩猟や採集を中心とした移動生活に耐えられるよう、衝撃を吸収するためにあえて厚手に作る技術が途絶えたから。
- 問3 弥生時代の文化を象徴する遺物である「銅鐸」について、その使用目的や出土傾向を正しく説明しているものはどれか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- 縄文時代から続く伝統的な風習において、死者を埋葬する際に手足に装着する装身具として使われた。
 - 実際の戦いや狩猟で使用するための実戦的な武器として、東日本を中心に広く普及した。
 - 豊作を祈るための祭りの道具として用いられ、滋賀県や和歌山県を含む近畿地方で多くの出土が確認されている。
 - 最新の農耕技術を伝えるための工具として、兵庫県や島根県などの沿岸部のみで限定的に使用された。
- 問4 紀元前後の日本（倭）が100余りの小国に分かれていた時代、現在の福岡県付近にあった「奴国」の王が使者を派遣し、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けられたとされる中国の王朝を選びなさい。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- 宋
 - 漢
 - 元
 - 唐
- 問5 弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために造られた「高床倉庫」について、床を高く設計した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- 洪水による浸水を防ぐために、海岸沿いの低湿地に集落の全ての建物を配置する必要があったため。
 - 夏の暑さをしのぐために、地面に深い穴を掘って室内の温度を一定に保つため。
 - 床下の通気性を高めて湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害虫が侵入するのを防ぐため。
 - 敵からの攻撃をいち早く発見するために、建物全体を物見櫓（ものみやぐら）として活用するため。
- 問6 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- 魏の強力な軍事力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため
 - 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため
 - 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため
 - 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため
- 問7 福岡県などの遺跡から出土した、中央につまみがあり周囲に精密な文様が施された円形の銅鏡について、この道具が当時の社会で果たしていた役割として正しく述べているものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- 文字を刻んで記録を残すための記録媒体として、役所などで管理されていた
 - 身分を問わず、弥生時代の全ての人々が護身用の盾として日常的に持ち歩いた
 - 非常に硬い性質を持っていたため、山林を切り拓くための斧として全国で普及した
 - 光を反射させる性質を利用し、強力な権威を持つ者が自らの地位を象徴する宝物とした
- 問8 弥生時代に始まった、青銅器と鉄器の使い分けに関する背景について、正しい説明はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- 石器から鉄器への移行を嫌った指導者たちが、妥協案として青銅器を儀式に導入した
 - 青銅器は弥生時代の中頃に全て回収され、その原料はすべて鉄器の製造に再利用された
 - 青銅は鉄よりも耐久性に優れていたため、大規模な土木工事の道具としてのみ使われた
 - 鉄器が実用的な武器や工具に用いられる一方で、青銅器は主に集団をまとめるための祭祀や権威の象徴に特化していった
- 問9 江戸時代に志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印や、3世紀の歴史書に記された卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かったという記述は、当時の日本と中国のどのような関係を示していますか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- 中国の皇帝が日本の優れた統治体制に学び、日本の王に中国の政治顧問を依頼した関係
 - 日本と中国が対等な立場での自由貿易を約束し、称号の交換を経済的な儀礼とした関係
 - 日本が中国の王朝に対して軍事的な圧力をかけ、金印や称号を無理やり奪い取った関係
 - 中国の皇帝に臣下として礼を尽くすことで、自らの支配権の正統性を認めてもらう関係
- 問10 弥生時代における「青銅器」と「鉄器」の使われ方の違いについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- 鉄器も青銅器も、ともに稲作を効率化するための農具としてのみ、実用的に普及した。
 - 鉄器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、青銅器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
 - 青銅器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、鉄器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
 - 鉄器は縄文時代から日本列島で独自に作られていたが、青銅器は弥生時代になって初めて大陸から伝わった。
- 問11 3世紀の中国の歴史書には、当時の倭（日本）の様子が詳しく記されています。邪馬台国の女王である卑弥呼が亡くなった際、直径100余歩（約150メートル）もの大きな塚が造られ、100人余りの奴隷と一緒に埋められたといった、当時の社会の様子や埋葬の風習を伝えている資料の名称を選びなさい。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- 「魏志」倭人伝
 - 「後漢書」東夷伝
 - 「隋書」倭国伝
 - 「漢書」地理志
- 問12 弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- 打製石器
 - 磨製石器
 - 青銅器
 - 鉄器

- 問1 弥生時代の祭祀で使われた青銅器のうち、釣鐘のような独特の形状をした道具について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- 非常に鋭い刃を持ち、敵と戦うための武器や木材を加工する工具として使われた。
 - 表面に当時の狩猟や農耕の様子、生活風景を反映した文様が刻まれている。
 - 土でつくられ、古墳の周囲に並べることで死者の霊を慰める役割を果たした。
 - 仏教の伝来とともに寺院に設置され、人々に時刻を知らせるために打ち鳴らされた。
- 問2 表面に当時の生活の様子や動植物、流水文などの模様が描かれ、上部に「鈕（ちゅう）」と呼ばれる持ち手のような部分がついている、弥生時代の祭祀用青銅器の名称は何か。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- 銅鐸
 - 埴輪
 - 銅矛
 - 銅戈
- 問3 3世紀の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏へ使節を送った際、皇帝から授かったとされる称号と、その証として贈られたものの組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- 倭王の称号と、仏教の経典や寺院の設計図
 - 親魏倭王の称号と、金印や百枚の銅鏡
 - 大王の称号と、鉄製の武器や農具
 - 漢委奴国王の称号と、金印
- 問4 弥生時代に製作された青銅器の一種で、兵庫県の上六ヶ所や島根県の上四ヶ所をはじめ、滋賀県や和歌山県といった近畿地方の府県で多くの出土が確認されている、豊作を祈るなどの祭礼に用いられた道具を何というか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- 勾玉
 - 銅矛
 - 石包丁
 - 銅鐸
- 問5 弥生時代の食生活の変化をまとめた資料では、この時期に稲作が広まったことが記されています。これと同じ時代、1世紀の日本の様子について述べた、中国の歴史書『後漢書』東夷伝の内容として正しいものを選びなさい。 (2022年 広島県公立入試 類似)
- 推古天皇の使者として小野妹子が隋に渡り、対等な外交を求めた。
 - 倭の奴国の王が後漢に使いを送り、光武帝から金印を授けられた。
 - 倭の五王が中国の南朝に使者を送り、朝鮮半島での軍事的地位を認めさせた。
 - 卑弥呼が魏の皇帝に使いを送り、「親魏倭王」の称号と金印を授けられた。
- 問6 弥生時代の社会において、大陸から伝わった「青銅器」と「鉄器」の使い分けに関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- 青銅器は主に通貨として流通し、鉄器は主に古墳の副葬品としてのみ使われた。
 - 青銅器は祭りの道具として用いられ、鉄器は工具や農具として用いられた。
 - 青銅器は書院造のような武家の住居を飾る装飾品として用いられた。
 - 青銅器は鋭い切れ味を活かして農具に、鉄器は祭りの楽器に用いられた。
- 問7 弥生時代に朝鮮半島から稲作が伝来したことで、縄文時代とは異なる社会状況が生まれました。生産力の向上や定住生活に伴って発生した出来事について、適切に説明しているものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- 冠位十二階が定められ、個人の才能や功績に応じて役職が与えられた。
 - 狩猟や採集が中心の生活となり、人々は獲物を求めて常に移動し続けた。
 - 収穫した稲の分配や土地の所有をめぐる、むら同士の争いが発生した。
 - 仏教が伝来し、各地で大規模な寺院の建設が始まった。
- 問8 弥生時代の集落で見られる、地面を円形や方形に掘り下げて床を作り、そこに数本の柱を立てて屋根をかけた、当時の人々が生活していた一般的な住居形式を何といいますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- たて穴住居
 - 寝殿造
 - 合掌造り
 - 高床倉庫
- 問9 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- 土を掘り返して苗を植えるために用いられた
 - 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた
 - 収穫した後の脱穀を行うために用いられた
 - 稲を根元から刈り取るために用いられた
- 問10 3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- 推古天皇
 - 持統天皇
 - 北条政子
 - 卑弥呼
- 問11 邪馬台国の女王卑弥呼に関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- 夫である天皇の死後、軍を率いて朝鮮半島へ出兵したという伝説がある。
 - 魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡を授かった。
 - 日本で初めて本格的な都城である藤原京を造営し、国家体制を整えた。
 - 摂政である聖徳太子とともに、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
- 問12 日本列島と朝鮮半島の位置関係を示した地図において、九州地方の北部（現在の佐賀県付近）に位置し、大陸との交流や当時の防御の様子を今に伝える弥生時代の代表的な遺跡はどれか、選びなさい。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- 吉野ヶ里遺跡
 - 登呂遺跡
 - 三内丸山遺跡
 - 岩宿遺跡
- 問13 弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった青銅器のうち、表面に幾何学模様や当時の生活・自然の様子が描かれ、釣鐘のような独特の形状をしている道具の主な用途として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- 豊作などを祈るための祭りの道具
 - 土を耕し田植えをするための農業用の道具
 - 獲物を捕らえたり身を守ったりするための狩りの道具
 - 食料を保存し煮炊きをするための道具
- 問14 古代日本の生活文化について述べた次の文のうち、衣料に関する記述として正しいものを選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- 弥生時代には稲作とともに綿の栽培も伝わり、民衆の服の多くは綿製であった。
 - 当時の技術では植物繊維を利用することができず、衣服のすべてが動物の皮で作られていた。
 - 古代の日本列島では乾燥した気候を活かした羊の飼育が盛んで、羊毛が主な原料だった。
 - 古墳時代の有力者は、麻のほかに絹を用いた衣服を身につけることもあった。

- 問1 弥生時代における「ムラ同士の争い」は、その後の日本の社会構造にどのような変化をもたらしましたか。当時の社会の流れとして最も適切な説明を選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 争いを鎮めるために、各集落が完全に独立したまま交流を断つ鎖国のような状態になった | 2. 争いを通じて周辺のムラが統合され、クニと呼ばれる強力な政治的まとまりが形成された | 3. すべての人が平等に食料を分配する仕組みが作られ、身分の差が完全になくなった | 4. 争いを避けるために人々が再び移動生活に戻り、定住する集落が一時的に消滅した |
|---|---|--|--|
- 問2 古代における農具の改良について、木製農具の先に鉄の刃先を取り付けるようになった目的と、その結果として生じた変化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. すべての農具を鉄のみで製造することで、木材資源の消費を抑え森林を保護した | 2. 石包丁の使用を継続しつつ、木製農具の強度を補うことで穂首刈りの効率を上げた | 3. 土を深く耕すことを可能にして農業生産力を高めるため、収穫量が増大した | 4. 灌漑用水を確保するために、大規模な土木工事専用の石造りの道具を開発した |
|---|--|---------------------------------------|--|
- 問3 3世紀に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏へ使節を送り「親魏倭王」の称号や銅鏡などを得た背景について、当時の日本の状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 中国が日本に対して朝貢を強制し、従わない場合は貿易を禁止すると通告してきたため | 2. 日本の優れた絹織物を中国全土に普及させ、大陸での市場独占権を皇帝に認めてもらうため | 3. 国内の諸勢力が争う中で、中国という大国の後盾を得ることで自らの権威を高める必要があったため | 4. 魏の軍勢力を直接日本に呼び寄せ、反対勢力を武力で一掃して一気に領土を拡大しようとしたため |
|--|--|--|---|
- 問4 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。（2017年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。 | 2. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。 | 3. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。 | 4. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。 |
|---|---|---|---|
- 問5 弥生時代、ムラ同士の争いに備え、集落の周囲に深い濠（ほり）や柵を巡らせた集落が見られるようになりました。このような特徴を持つ集落の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 門前町 | 2. 竪穴住居 | 3. 環濠集落 | 4. 高床倉庫 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問6 表面に当時の生活の様子や動植物、流水文などの模様が描かれ、上部に「鈕（ちゅう）」と呼ばれる持ち手のような部分がついている、弥生時代の祭祀用青銅器の名称は何か。（2026年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 銅戈 | 3. 銅鐸 | 4. 銅矛 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 弥生時代には青銅器と鉄器がほぼ同時に日本列島へ伝わりました。それぞれの金属器が果たした役割の違いについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 鉄器は定期市での取引を円滑にするために使われ、青銅器はイスラム教の礼拝の道具として使われた | 2. 青銅器は加工のしやすさを活かして農具や工具として普及し、鉄器は主に祭りの道具として使われた | 3. 青銅器は前方後円墳に埋葬するための副葬品として作られ、鉄器は神社の建築のために使われた | 4. 鉄器は鋭さや硬さを活かして農具や武器などの実用に供され、青銅器は主に祭りの道具として使われた |
|--|--|--|---|
- 問8 大陸から稲作の技術が伝わったことで、人々の生活や集落の様子は大きく変化しました。この時期の集落において、収穫した食料を管理・保存するために設けられた特徴的な施設として適切な名称を選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 環濠集落 | 3. 竪穴住居 | 4. 高床倉庫 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問9 「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使節を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授けようとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。 | 2. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。 | 3. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。 | 4. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。 |
|---|---|---|---|
- 問10 弥生時代に大陸から伝わった技術や文化が、当時の社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 青銅器が実用的な農具として普及したことで、開墾が進み全国的な統一国家が誕生した。 | 2. 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。 | 3. 狩猟や採集がより効率的になり、人々は移動を繰り返しながら竪穴住居に住んだ。 | 4. 巨大な前方後円墳を築くための高い土木技術が伝わり、各地に大規模な古墳が作られた。 |
|---|---|--|---|
- 問11 中国の歴史書『魏志倭人伝』の中で、邪馬台国の女王が即位した経緯や背景について説明した一節があります。その内容として最も適切な説明を次から選びなさい。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. それまでの世襲制を廃止し、中国の皇帝による直接的な任命によって、最も外交能力の高い女子を王とした。 | 2. 大規模な干ばつや飢饉が続いたため、農業の神に仕える特別な血筋を持つ女子を王とした。 | 3. もともと男子を王としていたが、国の中が乱れて数年も互いに攻め合ったため、一人の女子を王とした。 | 4. 仏教の教えを広めることで民衆の心を安定させるため、優れた徳を持つ女子が大陸から招かれて王となった。 |
|--|--|--|--|
- 問12 1世紀に倭の奴国の王が中国の後漢へ使節を送り、光武帝から金印を授かった背景として、当時の小国の王たちの目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 中国からの軍事支援を直接受け、近隣諸国を武力で一気に統一しようと考えたため。 | 2. 遣隋使や遣唐使のように、進んだ律令制度を学び取り、日本独自の憲法を制定するため。 | 3. 中国の皇帝から地位を認められることで、自国の権威を高め、周囲の国々に対して有利に立つため。 | 4. 仏教などの新しい宗教を中国から導入し、国民の精神的な団結を図るため。 |
|---|---|--|---------------------------------------|

- 問1 弥生時代の国際関係についてまとめた学習表において、1世紀に「奴国の王」が後漢の光武帝から授けられたとされる「金印」が、実際に見つかった場所として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 奈良県の纏向遺跡 2. 福岡県の志賀島 3. 佐賀県の吉野ヶ里遺跡 4. 大阪府の大仙陵古墳
- 問2 弥生時代に稲作が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起こるようになりました。集落を外敵からの攻撃から守るために、周囲に深い堀を掘り、木の柵を設置した集落を何と呼びますか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 高床倉庫 2. 三内丸山遺跡 3. 環濠集落 4. 石舞台古墳
- 問3 弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡では、集落の周囲に深い壕（ほり）や木製の柵が巡らされ、高床倉庫や物見櫓などが計画的に配置されています。このような、外敵や野生動物の侵入を防ぐために周囲を囲んだ集落の形態を何と呼びますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 寝殿造 2. 門前町 3. 国府 4. 環濠集落
- 問4 弥生時代に大陸から伝わった技術や文化が、当時の社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 巨大な前方後円墳を築くための高い土木技術が伝わり、各地に大規模な古墳が作られた。 2. 狩猟や採集がより効率的になり、人々は移動を繰り返しながら竪穴住居に住んだ。 3. 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。 4. 青銅器が実用的な農具として普及したことで、開墾が進み全国的な統一国家が誕生した。
- 問5 九州北部の福岡県付近で発見された弥生土器に象徴される時代には、大陸から青銅器の技術が伝わりました。この青銅器の一つである「銅鐸」は、日本において主にどのような目的で用いられたと考えられていますか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 武士が戦場で敵を攻撃するために使用した、実戦用の武器 2. 大陸との交易において支払いに使われた、和同開珎などの貨幣 3. 脱穀を行う際に使用する、千歯こきなどの農具 4. 豊作などを祈るための、祭りの道具
- 問6 弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。 2. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。 3. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。 4. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの間で争いが起こるようになった。
- 問7 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため 2. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため 3. 魏の強力な軍勢力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため 4. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため
- 問8 倭の奴国の王が、中国の後漢から金印を授かった紀元1世紀（西暦57年）ごろの世界情勢について、ヨーロッパや地中海周辺の動きを説明したものとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. ギリシャ人が地中海沿岸の各地にポリス（都市国家）を建設し始めた 2. アレクサンドロス大王が東方遠征を行い、ヘレニズム文化が広がっていた 3. 西ローマ帝国が滅亡し、ゲルマン人の大移動が本格化していた 4. 地中海を囲む広大な地域を統一したローマ帝国が成立していた
- 問9 弥生時代、大陸から金属器が伝わったことで人々の生活は大きく変化しましたが、当時の「青銅器」の主な用途と代表的な道具の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 鋭利な刃物として戦闘に用いられ、剣や矛などの武器の主流となった。 2. 祭祀や儀式のための道具として用いられ、銅鐸や銅鏡などが作られた。 3. 頑丈な農具として開墾に用いられ、すきや鍬（くわ）の先などが作られた。 4. 食料を保存・調理するための容器として用いられ、須恵器などが作られた。
- 問10 1世紀半ばに日本の「奴国」の王が中国へ使者を送り、皇帝から金印を授かったという出来事が記されている、当時の中国の歴史書として正しいものを答えなさい。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
1. 日本書紀 2. 魏志 3. 史記 4. 後漢書
- 問11 弥生時代、稲作が西日本から東日本へと普及して食糧の蓄えができるようになると、各地で土地や水をめぐる争いが起こり、小さな国々が誕生しました。こうした中、倭の奴国の王が中国の王朝へ使いを送った目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 鉄製農具や須恵器の製作技術を独占し、縄文時代から続く狩猟・採集の生活をより豊かにしようとした。 2. 中国の後漢の光武帝から金印を授かることで、自らの支配の正当性を背景に権力を強めようとした。 3. 巨大な前方後円墳を築造するための最新技術を導入し、日本列島全体の統一を早急に成し遂げようとした。 4. 土偶を用いた独自の祭祀を中国に認めてもらうことで、大陸での宗教的な影響力を拡大しようとした。
- 問12 弥生時代の大規模な集落に見られる「環濠集落」について、集落の周囲に深い壕や柵を設けた当時の社会的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 大規模な洪水や高潮などの自然災害から、住居や高床倉庫が流されるのを防ぐため 2. 大陸から伝わった最新の建築技術を誇示し、周辺の豪族に対して政治的優位を示すため 3. 仏教が伝来したことで、寺院を中心とした聖なる空間を俗世間から区別するため 4. 稲作が普及して蓄えられた食料や土地をめぐる争いが始まり、防御を固める必要があったため
- 問13 弥生時代に使用された道具とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 金属器のうち、青銅器は主に木材を加工するための工具として、鉄器は祭祀用の宝物として使い分けられた。 2. 稲作が始まった当初は木製の農具が中心であったが、次第に大陸から伝わった鉄器なども使われるようになった。 3. 収穫の効率を上げるために、鉄製の鎌を用いて稲の根元から刈り取る方式がこの時代に確立した。 4. 牛や馬を農作業に利用する牛馬耕が導入されたことで、大規模な水田開発が全国で一斉に進んだ。